

提携ニュース 2004

豊中・サンマテオ 姉妹都市

Sister City Affiliation Toyonaka – San Mateo

Toyonaka City



<http://www.city.toyonaka.osaka.jp/>

San Mateo City



<http://www.ci.sanmateo.ca.us/>

豊中・サンマテオ姉妹都市協会
Sister City Association of Toyonaka-San Mateo



サンマテオ親善使節をお迎えして

豊中・サンマテオ姉妹都市協会会長
三河 寛治

豊中・サンマテオ姉妹都市協会が、1963年（昭和38年）の姉妹都市提携の翌年に設立されてから今年で40周年を迎えます。

その記念すべき年に、サンマテオ市のみなさまが来豊されますことを心から歓迎し、お慶び申し上げます。

これまでの間、高校生英語弁論大会優秀者のサンマテオ市訪問とホームステイ、少年野球チームの親善試合のための相互訪問など、相互理解の精神と友情に満ちた文化・スポーツのさまざまな交流が、国際親善のかけ橋となり、今日の両市の発展と市民の相互理解に貢献してきたといっても過言ではありません。

今回のサンマテオ市のみなさまの来豊によります交流を契機といたしまして、当協会としましても活動の一層の充実を図り、両市の更なる友好促進につながりますよう努力してまいりたいと考えておりますのでよろしく申し上げます。

Toyonaka San Mateo Sister City Association was founded in 1964, the following year of the Sister City Affiliation in 1963, this year 2004 marks the 40th Anniversary of our union.

We are therefore especially pleased to have this opportunity in welcoming our friends from San Mateo into Toyonaka on such a memorable year.

For these past 40 years, both cities have developed a variety of cultural and sports exchanges, such as goodwill visits of high school students and friendly matches of boy's baseball teams. It would not be an overstatement to say that these exchange activities, full of willingness to understand each other, have promoted international friendship and contributed to the development of both cities and our citizen's mutual understanding.

Taking this opportunity to welcome our dear friends from San Mateo into their sister city, Toyonaka, we further encourage our present activities to enhance and continue our promotion mutual understanding and friendship.

Welcome



親愛なる豊中のみなさまへ

サンマテオ姉妹都市協会会長
サンディ ウェンドランド

この40年間にわたる教育・文化・スポーツ等の草の根交流により、サンマテオ市と豊中市は太平洋を越えて強い信頼と友情を育んできました。この関係は今後ますます強固で親密なものとなることと思いますが、それもひとえに姉妹都市協会の皆さまのお陰と心から感謝しております。

隔年の相互訪問の中で感じたことは、子供たちのホームステイや野球の親善試合によって培われた友情が、異なる文化やライフスタイルを互いに尊重し理解する上で大きな力となっている、ということです。市民間の交流が、互いの信頼と理解と友情に支えられ、友好の架け橋を築いてきたこと、それこそが姉妹都市交流事業の成果であるといえるでしょう。そしてそれは、両市の発展の上で大きな力になっているものと確信しております。

豊中市との提携は、サンマテオ市が国際姉妹都市プログラムに加盟した1963年に結ばれました。このプログラムは、姉妹都市間のさまざまな交流事業をつうじてグローバルな相互理解を深めることを目的としています。サンマテオ姉妹都市協会は提携以来40年にわたり、少年野球やダンスをはじめとするいくつかの交流事業を支援してきました。また豊中の姉妹都市協会でも、少年野球や、スピーチコンテスト優秀者のサンマテオ派遣といった、両市の交流をより一層促進する事業を支援されています。私たちはいつも、豊中からの訪問者をお迎えするのを楽しみにしています。

少年野球チームの親善訪問は1979年にスタートし、これまでにサンマテオ市から6チーム、豊中市から8チームが互いの国に派遣されました。この小さな親善大使たちを迎えるとき、私たちはお互いにホストファミリーをつのり、子供たちが相手国の一般家庭でホームステイできる機会を提供します。子供たちは外国の家庭で生活を共にすることにより、互いの文化や異なる習慣を肌で感じます。この経験から得られる友情や感動は生涯をつうじて消えることはないでしょう。

この8月の40周年式典には諸般の事情により参加することができず、非常に残念に思っておりますが、私の心はその場に皆さんと共にあるつもりです。サンマテオの地よりみなさまのご多幸とご健勝をお祈りすると共に、2005年に豊中の使節団を当地にお迎えすることを心から楽しみにしております。

敬具

Dear

原稿量の関係で、原文（英語）は、掲載を省略させていただきます。

event

Baseball

「豊中・サンマテオ姉妹都市親善野球」の歩み

豊中市少年野球連盟 会長 北野 信義

サンマテオ市と豊中市の野球少年たちが出会えたのは、サンマテオ市のジム・中田さん（故人）に負うところが大きいです。中田さんは、1963年に両市が姉妹都市提携を結んだ頃から、毎年のように豊中市を訪れてこられました。その頃から、両市の少年たちに野球を通じての交流をさせたいものだという夢を暖めておられました。その夢を当時の豊中市長に進言したところ、そのことが豊中市野球連盟の桑村三十三さんに伝わり、実現に向けての取り組みが進められることになったのです。

1979年の7月23日、一方では未知への不安も大きかったのですが、しかしそれを更に上回る期待があり、勇断のもと、初めての交流団が海を渡りました。選手（11～12歳）20名、引率随員の大人11名でした。一行はサンマテオ市のみなさんから大歓迎を受け、そして野球を通じての親善交流は、見事に成功を収めました（提携ニュース12号に掲載）。次いで1981年8月には、サンマテオ市から、2年前に豊中市の子供たちが対戦した年代の選手（中学生）と、その保護者の方々を中心とするチームが来豊されました。22人の選手は、16家族のホームステイで暮し、日本の文化を学びました。

こうして、両市の少年野球の交流が交互に実施されるようになりました。2001年には6回目の訪米をし、今年8月には、サンマテオ市のチームの6回目の来豊を迎えるべく、準備が着々と進んでいます。

初訪米（1979年）から2004年までの25年の間、いろんな思い出があります。過去6回の訪米で、参加した子供たち（選手）の人数は140人に達しました。それぞれが、言葉や生活習慣の違いをむしろ好教材とし、広いアメリカを自らの目で確かめ、多くを学んだに違いありません。私たち大人も、親善交流の意義、目的を果たす心構えで訪米しました。サンマテオの多くの方々の温かい歓迎に接し、幾度訪れても更に懐かしい同市の素晴らしさに、心が打たれました。

また、サンマテオ市からも、これまで5回の来豊を迎えました。ホームステイを引き受けて頂いたご家庭の温かいおもてなしや、市、姉妹都市協会関係者の方々、少年野球連盟の多くの皆さんの支えがあって、親善交流の絆が深まってきたものと確信しています。親善試合は勿論ですが、今までに、バーベキュー大会でおもてなしをしたり、盆踊りを催したりしたのは、びっくりされたり、大変なフィーバーぶりに参加されました。京都や奈良方面への観光にも満足頂きました。毎回のことながら、わずか1週間の滞在とはいえ、その夏の交流期間が過ぎ、空港でお見送りする光景は、胸が詰まります。お互いに辛さを堪えて飛び立って行かれるのです。

1999年の5回目の来豊の時は、姉妹都市提携35周年の式典がありました。クレーア・マック、サンマテオ市長のメッセージは、その友情の深さに私たちを感動させ、それはいまだに心に残っています。即ち「友好親善を深めるには、大統領や首相のような方々ではなく、ここに集う私たちが続けてきたような少年野球チームの交流や市民の交流が重要だと実感しています。」と。詳しくは提携ニュース30号に掲載されています。

さて、いよいよ8月12日にサンマテオ市少年野球チームが、6回目の来豊をされます。私たちは、「Welcome Home San Mateo」の横断幕を広げて、歓迎したいと思っております。



1979年親善野球第1戦プレイボール



1979年ホストファミリーとの対面式 全員緊張



1999年盆踊り



日本式あいさつ とまどうサンマテオ選手
明るく、礼儀正しい態度がサンマテオ市の人たちに
好感と爽快感を与えた

■ 姉妹都市協会の1年

- ・ 常任理事会・総会の開催
- ・ 第31回高校生英語弁論大会の優秀者2人をサンマテオ市に派遣
- ・ 「国際交流市民ネットまつり」にサンマテオ市のパネルを展示
- ・ 第32回高校生英語弁論大会の開催

■ 第32回高校生英語弁論大会

2004年（平成16年）1月31日（土）に、とよなか国際交流センターのイベントホールで、第32回高校生英語弁論大会が開催され、10校16人の高校生が参加しました。

最近では学校の英語教育も充実しており、それとともに出場者のレベルも年々上がってきているように感じます。高校生の皆さんにそれぞれの思いを英語で発表していただきましたが、昨今の世界情勢を反映したもの、便利で豊かな社会になって失われつつある思いやりの心、また英語・外国への熱い思いや身近な素晴らしい体験についてなど、どれも素晴らしい内容のものでした。

豊中市長賞には梅花高校3年の森長恵梨さんが「歴史の裏側の知られざるドラマ」というタイトルで、またサンマテオ市長賞には同じく梅花高校の2年、石田佳奈子さんが「天に届く塔」というタイトルで受賞されました。上位入賞者は、内容もさることながら発表の際の態度に洗練されたものがあり、観客席に目をむけて堂々と話し、たとえ内容を忘れていたり間違っただけでも、原稿を見るために間をあけることなく自分の言葉で切り抜けていたような印象を受けました。

■ 40周年を記念して、サンマテオ市から親善訪問団が来豊します。

豊中市とサンマテオ市が姉妹都市提携を結んで今年で40周年を迎えます。これを記念し、サンマテオ市から市長をはじめとする親善訪問団34人が、8月12日（木）～19日（木）まで豊中を訪れます。訪問団には少年野球チーム18人が含まれ、豊中のチームと親善試合を行います。文化・芸術・スポーツを通じて両市の交流がさらに促進し、友好関係がより一層深まることを期待します。

8月	サンマテオ 親善訪問団 日程表
12日(木)	豊中到着・ホストファミリー対面式・式典及び歓迎会
13日(金)	市表敬訪問・市内施設見学・親善試合第1戦
14日(土)	親善試合第2戦・ガーデンパーティ
15日(日)	京都観光（金閣寺・太秦映画村）
16日(月)	親善試合第3戦
17日(火)	高校野球観戦他
18日(水)	親善試合第4戦・第5戦・さよならパーティ
19日(木)	大阪国際空港から帰国の途へ (豊中から親善使節2人が渡米)

■ 私たちが豊中の親善使節です！

サンマテオ市からの親善訪問団帰国とあわせ、森長恵梨さんと石田佳奈子さんのお二人が、8月19日から26日までサンマテオを訪問します。豊中の親善使節として両市の交流を深めていただくよう、またアメリカではホームステイすることにより、語学力だけでなく豊かな感性と国際理解を深めていただくよう、協会として期待しています。



サンマテオ市長賞 豊中市長賞
石田 佳奈子 森長 恵梨

豊中の親善使節として、私たちが goodwill mission

昨年8月に、第31回高校生英語弁論大会の豊中市長賞の荒井恵さんとサンマテオ市長賞の大井早香さんが親善使節としてサンマテオ市へ派遣されました。おふたりは1週間のホームステイで、市長への表敬訪問やヨセミテ国立公園へのミニツアーなど様々な忘れがたい体験をしてこられました。



サンマテオ市訪問レポート 荒井 恵 さん

私達を迎えてくれたのは、サンマテオの人達の素敵な笑顔でした。ホストマザーのキャロラインさんをはじめ、市長や市議会の方々、協会長など市の関係の方々はもちろん、単にすれちがっただけの人々でも、私と目が合うと温かく微笑んでくれ、「笑顔はワールドランゲージ（世界の言葉）だ！」と改めて思いました。

ここには到底書ききれない程の、たくさんの経験をさせて頂きましたが、一番心に残っているのは、ボランティアの仕事に連れていってもらった事です。そこでは、ホームレスの人々のために、食事や衣服を用意したり、その費用を捻出するために、一般市民向けの豪華なパーティが開かれています。そのパーティの案内状の間違えている箇所を訂正したり、封をしたりする仕事をさせて頂きました。「お客さん」という旅ではなく、その土地の人がしている事を経験できた事は、とても貴重な時間でした。

渡米前から、緊張しながらも一番楽しみにしていた表敬訪問では、とてもフレンドリーで素敵な女性市長さんとの出会いに、感激のひとつきを過ごしました。市長さんは、豊中に来られた事もあり、その時の話をいっぱいしてくださった事なので、今度、サンマテオには、サンマテオを訪れて笑顔でたくさんお話ししよう「日本人は、願いをこめてマテオの皆さんの幸せと平青、白の3色の星条旗カラーして、とても喜んで頂きまちへのプレゼントは、とっズの数々でした。Tシャツ、ペン、鍵、マーカーなど、普通に素敵なお店に売っていきそうなものばかりで、驚きました。



が、私たちもとても嬉しかった人々が豊中に来られたとき感じた事、嬉しかった事を、と思いました。市長さんには、それを折ります。私達も、サン和を祈っています。」と、赤、で作った千羽鶴をプレゼントしました。サンマテオ市から私達もお洒落なオリジナルググマガカップ、ピンバッジ、ペン、

私は、今まで外国の人と話したときにはいつも、「日本では・・・大阪では・・・」といった言葉をよく使いました。しかし、サンマテオでは、豊中市からの親善使節の私達との会話の中で、「豊中では」といった言葉をよく耳にし、また自分でも口にしました。私は、自分は日本人、大阪人、だとは思っていましたが、豊中の人間だという意識はあまりありませんでした。今回の派遣で、私は豊中の事を聞き、話し、豊中に住んでいる事に誇りを持つ事ができました。これは、私にとっては大きな心の財産になりました。

最後に、この派遣の場を用意してくださった豊中市の方々、サンマテオの方々に感謝致します。キャロラインさんは、仕事場のお引越で忙しい上に、本当なら休暇中だったのにもかかわらず、その全てのお休みを私達のために使ってくれました。多くの人の支えのお蔭で実りある一週間、本当に有り難うございました。

サンマテオ市を訪問しました。 mission



サンマテオ市訪問レポート 大井 早香 さん

冬にスピーチ大会で賞として頂いた親善使節としてのサンマテオ派遣。私なんかには親善使節が務まるのだろうかと思いつつも、初めての海外に心躍らせながら、冒険に行く様な気分で日本を飛び立ちました。

気がつくと、英語の標識や会話に囲まれていました。そう、ここはアメリカ!! ビクターさん、ホストファミリーのキャロラインさん、ジョージさんが迎えに来てくれました。

アメリカでの初めての食事。覚悟はしていたけれど、こんなにも量が多いなんて・・・でも残すのは嫌だ!! と一人、完食。その後、アメリカで一度も残すことなく、ご飯を完食したことは、私の自慢です。

夜に、アメフトの試合に連れて行ってもらいました。驚く程の観客の歓声にうもれながら、初日にして沢山の感動をおぼえ、アメリカ最高!! と心底思いました。

楽しみにしていたサンフランシスコでは、ゴールデンゲートブリッジやフィッシャーマンズワーフに行き、ショッピングを楽しんだ後、ケーブルカーに乗って帰りました。ケーブルカーから覗くサンフランシスコの風景を眺めながら、まるで映画のヒロインの様な気分でした。

ヨセミテ国立公園に行った景色と大きな岩山、素晴らしかった。夜に行ったレストランでイナも美味しいけど、昨日の方が美味しかったわ。」と、してくれました。嬉しくて胸が何をするにも、私達に気をキャロラインさんのことが、



時は、みたこともない広大な自然にただただ感動しました。キャロラインさんが、「このデザートを作ってくれたあなた達の料理。昨夜作ったお好み焼きを褒め一杯になりました。

使ってくれて、いつも優しい私は大好きです。

緊張していた表敬訪問では、や協会会長のサンディさん、ジョンさんをはじめ、沢山の方々に温かく迎えて頂き、人と人との出会いがどれだけ大切で素敵なものかということを実感しました。

表敬訪問の翌日、ティファニーさんに動物園へ連れて行ってもらい、その後ショッピングに行きました。ここ、アメリカに来て、本当に沢山ショッピングをしました。腕前は、キャロラインさんにNO1 shopperとサムズアップされた程です。

アメリカで過ごす最後の夜、ディナーパーティーがあり、私達のお世話をしてくれた方々が沢山来てくれました。本当に本当に皆、良い方達ばかりで、アメリカで過ごした一週間、本当に幸せでした。とても良い経験と、素敵な思い出が沢山でき、今でも目をつぶればその時の情景が一つ一つ思い出されます。今回のこの経験を生かして、将来に役立てていこうと思います。豊中市・サンマテオ市の皆さん、蔭で支えてくださった全ての皆さん、本当にありがとうございました。

■ サンマテオ市長(キャロル・グルーム)メッセージ

Dear Citizens of Toyonaka

The Cities of San Mateo and Toyonaka are pleased to celebrate the Fortieth Anniversary of the beginning of the relationship.

During these past forty years, the strong bond of trust and friendship has grown between our two cities through many exchange visits. These friendships and exchange visits which have included students, baseball teams, governmental officials and seniors, have contributed greatly to the growth of the Sister City Program.

On behalf of the San Mateo City Council and the residents of our City, we send our best wishes for continued friendship between our cities and promotion of goodwill and world peace.

Sincerely



豊中市民のみなさまへ

サンマテオ・豊中両市が姉妹都市提携40周年を迎えますことをお祝い申し上げます。

私たち2つの都市は、40年間にわたる度重なる相互訪問を通じて互いの信頼と友情を育んできました。そして、学生・野球チーム・市職員・熟年市民などさまざまな人々が相互訪問することによって培われた友情は、姉妹都市プログラムの発展のための大きな力となりました。

サンマテオ市議会と市民を代表して、両市の友好関係が末永く続きますことを、また、国際親善と世界平和がさらに推し進められますことを心からお祈りいたします。

敬具

Declaration of Promotion of Friendship

The City of San Mateo and the City of Toyonaka pledged everlasting friendship on October 8, 1963. For 40 years, goodwill has been promoted through the exchange of art, culture and sports, particularly among the youth. This has resulted in heartwarming relationships between the citizens of both cities.

Therefore, on this date, the Mayor of San Mateo and the Mayor of Toyonaka do hereby declare their intention to promote friendship and goodwill between our cities. We respect the 40 year history of our Sister City relationship and strongly hope to continue to contribute not only to the understanding and goodwill between the United States of America and Japan, but also to the ideal of world peace.

Dated this 12th of August, 2004

Carole Groom

Mayer of San Mateo, California
United States of America

友好促進宣言

1963年10月8日、豊中市とサンマテオ市は、永遠に互る友好関係を誓い合いました。

以来、この40年間、両市の友好の輪は広がり、学術・文化やスポーツなどの市民同士の活発な交流は言うまでもなく、友情や心と心のつながりが生まれてきました。

サンマテオ市長と豊中市長は、両市の姉妹都市提携40周年を記念し、今日までの歩みをふりかえり、より強い友情の絆が日米両国の親善を促進し、ひいては世界の恒久平和の実現に寄与することを念願して、将来に向けて友好をさらに促進することを今日ここに宣言します。

2004年8月12日

日本国 大阪府
豊中市長 一色 貞輝

第34号 2004年(平成16年)7月15日発行

豊中・サンマテオ姉妹都市協会

事務局：豊中市 人権文化部 文化芸術・国際課

TEL：(06)6858-2504